

# V. 鉄道事故等と再発防止措置

## 1. 鉄道運転事故・インシデント・輸送障害の発生件数

### 【事故等報告（鉄道事業法・鉄道事故等報告規則に基づく報告）】

平成 25（2013）年度の事故は 4 件でしたが、全てが線路内立入り等による人身障害事故によるもので、当社の起因で発生したものではありません。また、平成 25（2013）年度は、輸送障害が 5 件発生しました。

		平成 25(2013)年度	平成 24(2012)年度	平成 23(2011)年度
事故	列車衝突事故	0	0	0
	列車脱線事故	0	0	0
	列車火災事故	0	0	0
	踏切障害事故	0	2 (2)	2 (2)
	道路障害事故	0	0	0
	鉄道人身障害事故	4 (4)	9 (9)	6 (6)
	鉄道物損事故	0	0	0
合計	4	11	8	
インシデント		0	0	1
輸送障害		5 [5]	4 [2]	2 [0]

※（ ）数は、線路内立入り等による人身障害事故件数 [内数]

[ ] 数は、自然災害・自殺等による件数 [内数]

## 2. インシデント・輸送障害の内訳

### 【インシデント報告（鉄道事業法・鉄道事故等報告規則に基づく報告）】

インシデントとは、「鉄道運転事故には至らなかったが、事故が発生するおそれがあると認められる事態」のことです。平成 25（2013）年度の発生はありませんでした。

(件数)

閉そく 違反	信号 違反	信号 冒進	本線 逸走	工事 違反	車両 脱線	施設 障害	車両 障害	危険物 漏えい	その他	計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 【輸送障害の内訳】

輸送障害とは、鉄道による輸送に障害を生じた事態であって、鉄道運転事故（上述の列車衝突事故・列車脱線事故等 7 項目）以外のものをいいます。

	平成 25(2013)年度	平成 24(2012)年度	平成 23(2011)年度
鉄道係員が原因の場合	0	0	0
車両・施設等が原因の場合	0	2	2
鉄道外の場合 (自殺、火災等)	4	2	0
自然災害の場合 (風水害、地震等)	1	0	0
総件数	5	4	2

### 3.主な輸送障害の内容 [平成 25(2013)年度実績]

#### ○輸送障害（地震発生）

##### ①発生日時・場所

平成 25(2013)年 4 月 13 日 午前 5 時 33 分頃 全線（本線・阪神なんば線・武庫川線・神戸高速線）

##### ②概要

淡路島を震源とした地震発生により、当社沿線に設置されている震度計が震度 4 を計測したため、列車無線を通じて運行中の各列車に非常停止指令の放送が自動的に行われ、全線で列車運行を停止しました。

##### ③対応

地震がおさまった後、午前 5 時 57 分から速度規制をかけて運転を開始しました。全線の設備の巡視点検の結果、異常がないことが確認できたため、午前 9 時 00 分から通常速度での運転を再開しました。この影響により、約 600 本の列車に運休や遅れ等の影響がありました。

#### 【「安全点検セット」の配置】

- ・電気部及び工務部では、大地震発生時に施設点検担当者が電気施設、土木・建築施設、機械設備及び軌道施設の初動点検を速やかに開始できる取組みとして、平成26（2014）年3月より、変電所や主要駅などの拠点に「安全点検セット」を配備しています。
- ・「安全点検セット」を沿線各所に配備することで、施設点検担当者が外出先で、あるいは勤務時間外に地震に遭遇した場合でも拠点に直接赴くことで、迅速に点検箇所に出動できるようになりました。

